

Interview

PROGRIT ×



「社員の学習の習慣化ができるのがプログリット」

—株式会社マンドム
人事部 人財開発課 グループリーダー 小杉 久人様

株式会社マンドム

お話をお伺いした方

- ・ 人事部
人財開発課 グループリーダー 小杉 久人様
- ・ 人事部
人財開発課 課長 大橋 寛嗣様
(※2021年5月取材時の役職)

企業様情報

- 事業内容** 化粧品・香水の製造および販売、医薬部外品の製造および販売
- 資本金** 11,394,817,459円 (2021年3月31日現在)
- 社員数** 646名 (連結 2,914名) (2021年3月31日現在)
- 所在地** 〒540-8530
大阪府中央区十二軒町5-12
- 設立** 1927年 (昭和2年) 12月23日
(※2021年5月取材時)



導入前の課題

次世代のグループリーダーを育成するにあたり、英語力の強化を目的に英語力英会話スクールやオンライン英会話を導入したものの、全体的な底上げが思うように図れなかった。

プログラットを選んだ理由

- ・コーチング型の企業を比較した時に受講者にとっての効果が圧倒的に高かった。
- ・体験したメンバーが「学習の習慣化」を実現。

導入による成果

- ・受講者全員が3ヶ月でVersantのスコアが大幅アップ（平均8点アップ、最大で19点アップ）
- ・海外赴任中のネイティブとの会話の中で成長を実感
- ・海外赴任中でも学習の習慣化が実現

#1 株式会社マンドムのグローバル戦略を教えてください。

我々は、次の節目である100周年、2027年に向けた「VISION2027」があります。その基本方針の1つに「アジアの成長を取り込んだ真のグローバルカンパニーへの進化」があり、最初のフェーズである第12次中期経営計画(2017~2019年)では、グループ経営を推進していくために様々な経営基盤の増強を行ってきました。

人事としてはその一環で「次世代グローバルリーダー教育」という選抜型の教育を構築、運用し始めました。グローバルリーダーに必要な英語力を強化するために2018年にスタートした英語教育で利用したのがプログリットです。

#2 社内の英語力や英語研修に対してどのような課題を持っていましたか？

人事としては、過去から会社全体的の英語力を高めようと、TOEIC[®]のIPテストの実施や希望者を対象とするグループレッスンを行ってきました。しかし、全体的な底上げが思うように図れない状況をうけ、「選択と集中」による選抜メンバーへの英語力の向上を行う方法に舵を切り直しました。

具体的にはグローバルリーダー教育の選定者を対象に英語力を強化していくことに。大橋は、2020年度のグローバルリーダー教育に選抜された一人です。

#3 グローバル人材育成のためにプログリットを選んだ理由はなんですか？

それまで活用してきた英会話スクールやオンライン英会話は、英語のベースがないと効果を発揮できないと感じていました。英語学習には「学習の習慣化」がポイントだと考えていた頃に、コーチング型の英語学習サービスを提供する会社が出始め、興味を持ったのがきっかけです。最終的にグループレッスンとマンツーマン指導、2つのコーチング型の企業を比較した時に、受講者にとっての効果性の高さで選んだのがプログリットでした。

実際に体験したチームメンバーが「自分がどう英語学習をしていけば、より英語力を伸ばせるかを理解できたことに加えて受講時にコーチが伴走してくれるのも魅力に感じた」と当時言っていました。



#4 大橋さんのご経歴について教えてください。

「海外で仕事してみたい」という思いから英語スキルゼロの状態、2011年からフィリピンへ。4年後帰国し、大阪本社の海外事業部で2年ほど在籍した後に、今度はインドネシアの工場で作られた商品をアジアのマダムグループや海外の代理店様に輸出する仕事を任せられ、インドネシアに渡りました。

#5 はじめに受けていただいたカウンセリングはいかがでしたか？

カウンセリング¹を受けたのはインドネシア着任中の2020年の8月頃です。

他の語学学校でもカウンセリングの経験はありましたが、聞き方やアプローチが「プロのカウンセリングだな」と思いましたね。ポイントポイントで気持ちを乗せてくれたのと、自分が苦手と感じていたポイントをわずか30分程度で見抜き指摘されたことに一番驚きました。



1.プログリットのカウンセリングではヒアリングとレベルチェックテストを行い、課題を分析し個別カリキュラムを作成しています。

プロのカウンセリングで受けた納得感

カウンセリングで納得感を持てたので、その後のプログラムも気持ちよくスタートできたのだと思います。

#6 プログリットの受講後、効果を実感したシーンはいつですか？

流暢で難しい単語も使いこなすインドやドバイの方々と話すときに「語彙力増えた」とか、「習った言い回しがスムーズに出てきた」ことで実感しました。また、受講の前後に受けたVERSANT²の結果が41から47点に。それから、週1回単語やフレーズのテストでも習熟度の高まりを感じました。

#7 海外でプログリットを受講することは大変でしたか？

インドネシアは通信環境が良いわけではないですが、大変だと感じた部分は特にはないですね。実際に海外の他の拠点で受講している人は私以外にも居ます。

インドネシアは通信環境が良いわけではないですが、大変だと感じた部分は特にはないですね。実際に海外の他の拠点で受講している人は私以外にも居ます。

2. VERSANTは、仕事で使える実践的な英語力を測るテスト。従来のテストや検定試験と異なり、試験の実施と採点までが短時間で行えるのが特徴。英語を聞いてから英語で話すという、実際のシーンに沿った英語コミュニケーション能力を測ることができるため、PROGRITではビジネス英会話コースで導入し、生徒様の英語力の伸びを数値化しています。

#8 プログリットの受講を通じて得られたものはありますか？

勉強の習慣化です。語学学校は講義の間にどれだけ話せるか、自分の疑問点を伝えるかの勝負。宿題が出ることもほぼなく、自分の家で勉強する習慣や、その意思がないと外国の方と話すだけになってしまいます。場慣れにはなりますが、新しく知識を入れる意味だと、プログリットのほうが遥かに効率的でした。

#9 どのような方にプログリットを勧めたいですか？

私のように、やる気はあってもさぼってしまう怠け者にお勧めです。英語を勉強する環境を作ることが大変だと思うので、それを助けてくれるメンターの存在が最大の魅力ではないかと。色々な相談に「このアプリを試してみてもいいよ」「映画を観るならこれがいいですよ」など、対処法が広くて深くて。そこまで本気でされると、私もさぼるわけにはいきません。



#10 人事として今後のプログリットをどう活用していくお考えですか？

基本的にグローバルリーダー教育に選抜された方、かつ基礎力のある方に継続的に活用していく考えです。これまでの評価と反省を踏まえると、ある程度基礎力のある人は学習パターンを早く身につけやすく、学習成果を感じやすいとわかりました。実際VERSANTで平均8点アップ、最大で19点伸ばす社員もいました。

導入を検討されている人事担当者にお伝えすべきプログリットのスrongポイントは、受講者からのコメントからわかる通り、本人をモチベートしてくれるところだと思います。



企業様の導入、続々決定中！

会社全体の英語力を底上げしたい。海外で活躍できる社員を育てたい。
プログリットは、そんな企業様の想いを短期間で実現いたします。
英語学習コーチングという今までにない手法で、様々な業種の企業様から好評の声を頂戴しております。
まずは弊社の営業担当より貴社の英語導入の目的やご希望をお伺いさせていただきます。以下よりご連絡くださいませ。

【法人様担当 ご連絡先】

株式会社プログリット 法人営業第一部

TEL : 03-6381-7760 / E-mail : corporate-sales@progrit.co.jp

インターネットからは以下URLよりお問い合わせください。

<https://business.progrit.co.jp/>